

# 令和4年度 研究推進について

南丹市立美山小学校

## I 研究推進計画

### (1) 研究主題

#### 自ら考え、伝え合い、学ぶ喜びを実感する児童の育成

### (2) 主題設定について

本校は令和3年度まで、「自ら考え、伝え合い、学ぶ喜びを実感する児童の育成～美山学の実践を通して～」を研究主題とし、京都府小学校教育研究会「総合的な学習の時間」研究協力校として、3年間の研究を行ってきた。その中で、地域との連携・協働による教育活動を「美山学」と位置づけ、授業実践を通して、児童の主体的・対話的で深い学びの実現を目指してきた。

研究を進めていく中で、地域の教育資源は良いのだが、自らの考えを伝え合ったり意見を話し合ったりする場面での活動の弱さが見られた。昨年度末の児童アンケートを見てみると、「授業でのペアやグループでの学び合いは楽しい」という項目において、肯定的な意見が多いことが分かった。その反面、「話し合いの時には自分の意見をよく発表している」という項目では否定的な意見が多かった。つまり、ペアやグループで話し合ったり活動したりすることには意欲的だが、自分の意見を述べることに消極的であることが分かった。

さらに、「学習内容が分かり、学習したことができる」という項目においては、全体を見ると肯定的な意見が目立つが、細かく見てみると、自信を持って「できる」と言えるかということ、消極的になるようである。ここから学習に対する自信の無さや不安などを読み取ることができる。

また自己肯定感について、児童アンケートの「自分の良いところを知っている」という項目では、肯定的な意見が少なかった。それに対し、「友達や仲間のよいところを知っている」という項目では、肯定的な意見が多くあった。このことから、他人や友達の良いところを見つけることはできるが、自分自身の良いところとなると、自信を持って言うことができないのではないかと考える。

これらの本校の現状を踏まえ、基礎基本の学力の定着と学ぶ意欲の向上、自己肯定感を育成させることが必要であると考えた。まず、これまでの授業を改善し、個に応じた指導を充実させること、家庭学習や朝学習の方策を見直して取り組ませることで、基礎学力の定着を図る。そうすることで、課題に対する自分の意見に自信を持つことができ、活発な話し合い活動ができるのではないだろうか。また、このような活動を繰り返すことで、学習等に対する自信を付けることができ、「できた」という喜びを実感させ、自己肯定感を育成させることができるのではないかと考える。そこで今年度の研究主題を「自ら考え、伝え合い、学ぶ喜びを実感する児童の育成」として、次の研究重点事項を中心に研究を進めていく。

## 【研究重点事項】

- ① 主体的・対話的で深い学びの実現をめざす授業改善を通じた非認知能力の育成
- ② 家庭学習と連携した基礎学力の定着
- ③ 個の実態に応じたきめ細かな指導

## (3) 研究仮説

- ①家庭学習や朝学習、個に応じた学習指導等を通して基礎基本の学力を定着させることにより、児童自らが課題に対する考えを持ち、児童同士で交流し、深い学びを共有することができるのではないかな。
- ②ペアやグループ、ICT 機器を使った話し合い活動を意識的に取り組むことにより、児童たちが意見を交流し合い、考えを構築していくことで、児童自身が自らの成長を実感し、自己肯定感等の非認知能力を向上させることができるのではないかな。

## (4) 研究組織



## (5) 主な研究内容

|                    |                                                                                                                                                                                                |
|--------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 研究推進委員会<br>(国語・算数) | <ul style="list-style-type: none"><li>・国語科・算数科を中心とした主体的・対話的で深い学びのある授業の構築、指導案検討</li><li>・朝学習や放課後補充における指導内容の精査</li><li>・家庭学習の内容や方法の検討</li><li>・個に応じた指導の検討</li><li>・学力診断テスト等の結果における学力分析</li></ul> |
|--------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## (6) 研究計画

| 実施日時     | 実施場所 | テーマ・内容       | 実施形態      | その他 |
|----------|------|--------------|-----------|-----|
| 4月27日(水) | 校内   | 今年度の研究推進について | 校内研修      |     |
| 5月11日(水) | 校内   | 3年生授業研究・学力分析 | 授業研究・学力分析 |     |
| 6月1日(水)  | 校内   | こだま学級授業研究    | 授業研究      |     |

|           |    |              |      |  |
|-----------|----|--------------|------|--|
| 6月15日（水）  | 校内 | 6年授業研究       | 授業研究 |  |
| 7月27日（水）  | 校内 | テスト結果からの学力分析 | 学力分析 |  |
| 10月19日（水） | 校内 | 5年授業研究       | 授業研究 |  |
| 11月2日（水）  | 校内 | 2年授業研究       | 授業研究 |  |
| 1月18日（水）  | 校内 | 4年授業研究       | 授業研究 |  |
| 1月25日（水）  | 校内 | 1年授業研究       | 授業研究 |  |
| 2月22日（水）  | 校内 | 1年間の研究推進のまとめ | 研究協議 |  |

#### 事前研究会について

※各授業研究の事前研究については希望制とする。

行う場合は、授業日の2週間前を目安に当該担任＋研究推進委員会での協議とする。

（人権問題学習授業公開研究会…当該担任＋人権教育部）

・希望する場合は、研究主任に事前に連絡をする。

※事後研究会の運営は、研究推進委員会で行う。

※指導案様式等については、総合教育センターから出されているものを基本とする。